品　川　区

障害福祉計画策定のための

基礎調査報告書（施設入所抜粋）



令和 ２ 年 ３ 月

品　川　区

[１　調査の目的と方法 1](#_Toc104479089)

[１　回答者について 4](#_Toc104479090)

[２　ご本人について 4](#_Toc104479091)

[３　障害・疾病について 7](#_Toc104479092)

[４　相談について 11](#_Toc104479093)

[５　福祉に関する情報の入手先 12](#_Toc104479094)

[６　障害理解・権利擁護について 13](#_Toc104479095)

[７　施設入所について 17](#_Toc104479096)

[８　施設での生活状況 19](#_Toc104479097)

[９　将来について 24](#_Toc104479098)

[10　区の施策について 28](#_Toc104479099)

[11　意見・要望 30](#_Toc104479100)

第 １ 章

調 査 の 概 要

## １　調査の目的と方法

### （１）調査の目的

この調査は、令和２年度に予定されている「品川区第６期障害福祉計画」及び「品川区第２期障害児福祉計画」の策定にあたって、区内の障害者の生活状況や意見・要望などの障害者ニーズを把握し、今後の障害者施策の推進に役立てることを目的として実施しました。

### （２）調査の対象と調査方法

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **調査の種類** | **調査の対象** | **調査方法** |
| Ａ在宅の方を対象とした調査 | 品川区内にお住まいの在宅の18歳以上の方で、身体障害者手帳、愛の手帳をお持ちの方及び障害福祉サービスや自立支援医療（精神通院医療）を利用している方を対象にしました。 | 調査票を郵送配布、もしくは事業者などを通じて配布し、郵送回収する方法で実施しました。 |
| Ｂ施設に入所している方を対象とした調査 | 品川区に住所があり、障害者入所施設に入所している方を対象としました。 |
| Ｃ18歳未満の方と保護者の方を対象とした調査 | 品川区内にお住まいの18歳未満の方で、身体障害者手帳、愛の手帳をお持ちの方及び障害福祉サービスや自立支援医療（精神通院医療）を利用している方を対象にしました。 |
| Ｄ発達障害の方を対象とした調査 | 品川区内にお住まいの発達障害者の方で、区のサービスを利用している方を対象としました。 |
| Ｅ高次脳機能障害の方を対象とした調査 | 品川区内にお住まいの方で、高次脳機能障害者家族会の方や、相談事業を利用している方を対象としました。 |
| Ｆ事業所を対象とした調査 | 品川区内の全事業所を対象としました。 |

### （３）調査期間

　令和元年１０月２日から１０月２１日までの期間に実施しました。

### （４）配布・回収状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 配布・回収状況 | 配布数 | 有効回収数 | 有効回収率 |
| A 在宅の方 | 5,010 | 2,231 | 44.5% |
| B 施設に入所している方 | 277 | 126 | 45.5% |
| C 18歳未満の方と保護者の方 | 735 | 362 | 49.3% |
| D 発達障害の方 | 35 | 11 | 31.4% |
| E 高次脳機能障害の方 | 14 | 9 | 64.3% |
| F 事業所 | 114 | 64 | 56.1% |
| 全体 | 6,185 | 2,803 | 45.3% |

※注　以下の問については、調査票上は単数回答でしたが、複数回答が多かったため、複数

回答として集計しました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| A 在宅の方 | 問16－２ | 介助者 |
| A 在宅の方 | 問16－３ | 介助者の年齢 |
| C 18歳未満の方と保護者の方 | 問12－2 | 介助者 |
| C 18歳未満の方と保護者の方 | 問12－3 | 介助者の年齢 |
| E 高次脳機能障害の方 | 問11－２ | 介助者 |
| E 高次脳機能障害の方 | 問11－３ | 介助者の年齢 |
| C 18歳未満の方と保護者の方 | 問28 | 通園・通学先 |

※注　本報告書中のグラフ・数表において、複数の障害がある場合にはそれぞれの障害に

カウントしています。

第３章

施設に入所している方を
対象とした調査

## １　回答者について

問１　この調査票に回答していただく方はどなたですか。（○はひとつ）

　調査票の回答者は、全体でみると「あて名ご本人」が31.0％ですが、身体障害では53.7％、知的障害では20.0％と大きく数値は異なります。

　「その他」としては、「施設職員」、「担当職員」、「支援員」、「生活支援員」の記入がありました。



## ２　ご本人について

### 性別

問２　あなた（あて名の方）の性別をおききします。（〇はひとつ）

　性別は、「男性」が57.9％、「女性」が42.1％と、やや男性が多くなっています。



### 年齢

問３　あなた（あて名の方）の年齢をおききします。

　年齢は、「40～49歳」が32.5％、「50～59歳」が22.2％を占め、40代・50代が全体の半数強を占めている状況となっています。一方、「65～69歳」（8.7％）、「70～74歳」（4.8％）、「75歳以上」（10.3％）を合わせると、65歳以上の高齢者が２割以上いることがわかります。

　障害の種類別にみると、平均年齢は、身体障害が57.5歳、知的障害が53.2歳と、知的障害のほうがやや若くなっています。



### 自宅に住んでいる家族

問４　あなたのご自宅には、どなたか家族の方が住んでいますか。（〇はいくつでも）

　自宅に住んでいる家族は、「母親」が39.7％と最も多く、次いで「父親」（27.0％）、「兄弟姉妹」（24.6％）と続いています。



## ３　障害・疾病について

### 障害者手帳の種類

問５　あなたが持っている障害者手帳の種類をおききします。手帳をお持ちの方は、等級・程度にも〇をつけてください。（〇はいくつでも）

① 障害者手帳の種類

　全体でみると、「愛の手帳」を持っている人は79.4％、「身体障害者手帳」を持っている人は32.5％です。



② 身体障害者手帳の等級

　身体障害者手帳の等級内訳は、「１級」48.8％、「２級」22.0％、「３級」9.8％、「４級」7.3％、「５級」4.9％、「６級」7.3％です。



③ 愛の手帳の程度

　愛の手帳の程度内訳は、「１度」が9.0％、「２度」が56.0％、「３度」が26.0％、「４度」が9.0％です。



④ 精神障害者福祉手帳の等級

　精神障害者保健福祉手帳を所持している人は１人で、等級は「３級」です。

### 身体障害の種類

問５－1　身体障害者手帳をお持ちの方におききします。障害の種類は何ですか。(〇はいくつでも)

　身体障害の種類は、「肢体不自由（上肢・下肢・体幹等）」が80.5％と最も多く、次いで「視覚障害」（14.6％）、「内部障害（心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう、直腸、小腸、免疫機能、肝臓）」（12.2％）と続いています。



### 医療的ケアの状況

問６　現在、次のような医療的ケアを受けていますか。（〇はいくつでも）

　現在、45.2％の人が「服薬管理」を受けている状況です。なお、約３割の人は「医療的ケアは受けていない」（30.2％）と回答しています。



## ４　相談について

### 困ったときの相談相手

問７　あなたやご家族の方が困ったときに相談する相手は誰ですか。（〇はいくつでも）

　困ったときの相談相手としては、約８割の人が「施設（通所・入所）の職員」（80.2％）をあげています。次いで、「家族や親族」（40.5％）、「医療関係者（医師・看護師・ソーシャルワーカー）」（15.9％）、「区の障害者福祉課」（14.3％）の順となっています。



### 相談状況

問８　あなたが困ったとき、相談相手にはどの程度相談にのってもらえますか。一番よく相談する相手について、お答えください。（〇はひとつ）

　相談状況としては、「十分に相談できている」人が38.1％、「ある程度は相談できている」人が42.1％となっており、合わせると約８割の人が相談できている状況です。



## ５　福祉に関する情報の入手先

### 福祉に関する情報の入手先

問９　あなたは、福祉に関する情報を、どこから得ていますか。（〇はいくつでも）

　福祉に関する情報の入手先としては、約７割の人が「施設の職員」（69.0％）をあげています。次いで、「テレビ・ラジオ」（17.5％）、「新聞・書籍」（8.7％）と続いています。



## ６　障害理解・権利擁護について

### 差別や偏見、誤解や理解不足を感じる状況

問10　あなたは、障害に対する差別や偏見、誤解や理解不足を感じますか。（〇はひとつ）

　障害に対する差別や偏見、誤解や理解不足を「常に感じる」人は4.8％、「ときどき感じる」人は18.3％となっており、合わせる２割強の人は差別や偏見等を感じている状況がうかがえます。



### 具体的に差別や偏見、誤解や理解不足を感じる場面

問10－1　「常に感じる」「ときどき感じる」と回答した方におききします。どのような場面で障害に対する差別や偏見、誤解や理解不足を感じますか。ご自由にお書きください。

　障害に対する差別や偏見、誤解や理解不足を感じる具体的な場面としては、以下のような記入がありました。内容としては、「周りの人の態度」、「外出時」、「視線が気になる」、「公共交通機関で理解不足」などがあります。

|  |  |
| --- | --- |
| 内　容 | 件数 |
| 周りの人の態度 | 5件 |
| 外出時 | 5件 |
| 視線が気になる | 3件 |
| 公共交通機関で理解不足 | 3件 |
| 話が伝わらない・聞いてもらえないとき | 2件 |
| 障害に対する理解不足 | 1件 |
| 周囲の理解不足 | 1件 |
| 行動できない | 1件 |
| 区や区の窓口の理解不足 | 1件 |
| その他 | 1件 |

＜周りの人の態度＞

* 買い物のときに「お願いします」と協力を依頼しても聞こえないフリをされる。

・　外出時、じりじろと見られ、遠巻きにされる。

・　外出したときに、健常者から冷たい対応をされる。

・　乗り物に乗ったとき、へんな目つきで見られる。

＜外出時＞

・　公共の場所や街を歩いているとき。

・　めずらしいものを見ているかのような視線。

・　スーパーに行ったときの周囲の視線。

* バス、電車に乗ったとき、ひとり言を言っていると席を離れて行く。

＜公共交通機関で理解不足＞

・　電車やバスに乗るとき。

・　交通機関を利用する際、よく視線を向けられる。

＜話が伝わらない・聞いてもらえないとき＞

・　自分の言葉や思っていることが伝わらないことがある。

・　自分の話をきちんと聞いてもらえないとき。

＜障害に対する理解不足＞

・　昔と比べると、細やかな配慮や気配りをしてくれる人が少ない。

＜周囲の理解不足＞

・　外見で判断され、任された仕事が期待通りに進んでないと苦情や注意されることが多い。

＜行動できない＞

・　障害が重度のため、日中活動や活動の範囲に制約が生じやすい。

＜その他＞

・　昔に比べれば、差別は少なくなったように感じる。

### 障害理解のために力を入れるべきこと

問11　あなたは、障害への理解を進めていくためにどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（〇はいくつでも）

　障害への理解を進めていくために力を入れるべきこととしては、「地域や学校等で交流の機会を増やすこと」をあげる人が35.7％と最も多く、次いで「地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと」が23.8％と続いています。

　障害の種類別にみると、「障害や障害者の生活を伝えるパンフレットの発行」をあげる人の割合は、身体障害で24.4％、知的障害で9.0％と、身体障害で特に高くなっています。



### 成年後見制度の認知

問12　成年後見制度とは、精神上の障害（知的障害、精神障害、認知症など）により判断能力が十分でない方の財産などの権利を守る制度です。あなたは、成年後見制度について知っていますか。（〇はひとつ）

　成年後見制度については、「名前も内容も知っている」人は19.0％で、54.8％は「名前も内容も知らない」と回答しています。



### 成年後見制度の利用意向

問13　あなたは、成年後見制度を利用したいと思いますか。（〇はひとつ）

　成年後見制度については、「既に利用している」人が17.5％、「将来必要になったら利用したい」と回答した人が15.1％となっており、合わせると３割強の人には利用意向がある状況です。一方、「利用したいとは思わない」という人は4.0％にとどまっています。



## ７　施設入所について

### 施設のある地域

問14　あなたが現在入所している施設のある地域をおききします。（〇はひとつ）

　施設のある地域は、「品川区内」が29.4％と最も多く、次いで「関東（東京都を除く）」（25.4％）、「東北」（15.9％）、「東京都（23区を除く）」（13.5％）と続いています。

　障害の種類別にみると、身体障害では「品川区内」が53.7％を占めていますが、知的障害では「関東（東京都を除く）」が30.0％と最も多く、次いで「東北」（20.0％）、「品川区内」（17.0％）の順となっています。



### 入所年数

問15　あなたが現在の施設に入所してからの年数をおききします。（〇はひとつ）

　入所年数は、「20年以上」が42.9％、「10年以上～20年未満」が25.4％となっており、合わせると、入所年数が10年以上の人が約７割を占めていることがわかります。

　障害の種類別にみると、入所年数が10年以上の人の割合は、身体障害で65.9％、知的障害で71.0％となっており、知的障害のほうがやや長い入所期間となっています。



### 入所を決めた理由

問16　あなたが現在の施設に入所することに決めた理由は何ですか。（〇はいくつでも）

　現在の施設に入所することを決めた理由は、「家族による介助が難しくなったため」が52.4％と特に多く、次いで「家族などに勧められたため」（21.4％）、「常時介助が必要なため」（17.5％）、「生活が保障され安心感があるため」（15.1％）と続いています。



## ８　施設での生活状況

### 施設生活の満足度

問17　あなたは、施設での生活に満足していますか。（〇はひとつ）

　施設での生活に「非常に満足している」人は23.8％、「やや満足している」人は35.7％となっており、合わせると約６割の人は施設での生活に満足している状況がうかがえます。一方、不満である人は数％にとどまっていますが（「非常に不満である」0.8％、「やや不満である」4.8％）、「わからない」と回答した人も33.3％みられます。



### 暮らしの中で困ること

問18　あなたが現在の暮らしの中で、困ることや不安に感じていることはありますか。(〇はいくつでも)

　現在の暮らしの中で困ることや不安に感じていることとしては、「身の回りのことが自分では十分にできない」ことをあげる人が23.0％と最も多く、次いで「外出の機会が少ない」（21.4％）、「家族とあまり会えない」（17.5％）と続いています。



### 施設に対する要望

問19　あなたは、現在入所している施設に対して、どのような要望がありますか。（〇はいくつでも）

　施設に対する要望としては、「外出をふやしてほしい」が38.1％と最も多く、次いで「健康に配慮してほしい」（15.9％）、「介助・看護を手厚くしてほしい」（15.1％）、「余暇活動をしてほしい」（14.3％）と続いています。

　障害の種類別にみると、知的障害より身体障害のほうが10ポイント以上高い項目としては、「職員の対応をよくしてほしい」（身体障害 22.0％、知的障害 6.0％）、「生活内容をよくしたい」（身体障害 22.0％、知的障害 5.0％）、「相談に十分にのってほしい」（身体障害 19.5％、知的障害 6.0％）、「施設の整備をよくしてほしい」（身体障害 17.1％、知的障害 4.0％）「プライバシーに配慮してほしい」（身体障害 17.1％、知的障害 3.0％）の５項目があります。

　「その他」としては、「工賃を上げてほしい」、「リハビリを増やしてほしい」との記入がありました。



### 日常生活の楽しみ方

問20　あなたの日常生活の楽しみ方についておききします。（〇はいくつでも）

　日常生活の楽しみ方としては、「施設の行事・イベント」をあげる人が54.8％と最も多く、次いで「自室などでくつろぐ」（42.9％）、「飲食店に行く」（28.6％）、「音楽を聴く」（27.8％）と続いています。

　障害の種類別にみると、知的障害より身体障害のほうが10ポイント以上高い項目としては、「趣味や学習活動」（身体障害 41.5％、知的障害 17.0％）、「友人・知人と会う」（身体障害 22.0％、知的障害 5.0％）、「演劇や映画の鑑賞」（身体障害 14.6％、知的障害 4.0％）の３項目があります。

　「その他」としては、「ドライブ」、「食事」、「コーヒー」、「テレビを見る」、「写真を見る」、「パチンコ」、「お絵描き」、「実家に帰る」などの記入がありました。



### 家族や友人と会う頻度

問21　あなたは、家族や施設外の友人・成年後見人などと、どのくらいの頻度で会いますか。（〇はひとつ）

　家族や施設外の友人・成年後見人などと会う頻度は、「年に数回位」が29.4％と最も多く、次いで「月に１回位」（18.3％）、「月に２～３回位」（9.5％）と続いています。一方、「あまり会わない」と回答した人も27.8％みられます。



### 家族や友人と会う場所

問22　あなたは、家族や施設外の友人・成年後見人などと、どこで会いますか。（〇はいくつでも）

　家族や施設外の友人・成年後見人などと会う場所は、「施設内」が51.6％と最も多く、次いで「自宅」（23.0％）、「一緒に外出する」（19.0％）と続いています。



## ９　将来について

### 希望する日中の過ごし方

問23　あなたは将来、どのように日中を過ごしたいと思いますか。（〇はいくつでも）

　将来、希望する日中の過ごし方としては、57.9％の人が「今いる施設で過ごしたい」と回答しています。



### 希望する暮らし方

問24　あなたは将来、どこで暮らしたいと思いますか。（〇はいくつでも）

　将来、希望する暮らし方としては、57.9％の人が「施設に入所したまま暮らしたい」と回答しています。一方、地域で暮らしたいという人についても、「地域で家族と一緒に暮らしたい」が11.1％、「地域のグループホームなどで暮らしたい」が7.9％、「地域で一人暮らしをしたい」が4.0％となっています。



### 希望する暮らし方をするために必要な支援や環境

問24－1　「地域で暮らしたい」と回答した方におききします。あなたが希望する暮らし方をするためには、どのような支援や環境が必要になると思いますか。（〇はいくつでも）

　地域で暮らしたいと回答した人に、希望する暮らし方をするために必要な支援や環境を尋ねたところ、「介助者がいること」をあげる人が42.3％と最も多く、次いで「困ったときに相談できる人がいること」が34.6％と続いています。



### 施設生活を続けたい理由

問24－2　「施設に入所したまま暮らしたい」と回答した方におききします。現在の施設の生活を続けたい理由は何ですか。（〇はいくつでも）

　施設に入所したまま暮らしたいと回答した人に、施設の生活を続けたい理由を尋ねたところ、「入所者や施設職員との関係が良好なため」と回答した人が60.3％と最も多く、次いで「環境や日中活動の内容等に満足している」と「家族の受け入れ体制が整っていない」がそれぞれ30.1％で続いています。



## 10　区の施策について

### 重要だと思う施策

問25　障害のある方が地域で安心して暮らしていくためには、どのようなことが重要だと思いますか。（〇はいくつでも）

　障害のある人が地域で安心して暮らしていくために重要なこととしては、「一人ひとりの状況に合わせた支援を行えるサービスがあること」をあげる人が51.6％と最も多く、次いで「緊急時や災害時の安全が確保されていること」（45.2％）、「障害の有無に係わらずともに生活できるよう、理解と共感を深めること」（40.5％）と続いています。



### 区は暮らしやすいまちか

問26　品川区は、障害のある方やご家族の方にとって、暮らしやすいまちですか。（〇はひとつ）

　障害のある人や家族にとって、品川区が「とても暮らしやすい」と考えている人は9.5％、「どちらかというと暮らしやすい」と考えている人は21.4％となっています。



## 11　意見・要望

### 意見・要望

問27　障害者施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

　障害者施策に関する意見・要望としては、「福祉サービス」「バリアフリー」、「将来の不安」などについて、以下のような記入がありました。

|  |  |
| --- | --- |
| 内　容 | 件数 |
| 福祉サービス | 3件 |
| 現状のままでよい | 3件 |
| バリアフリー | 2件 |
| 将来の不安 | 1件 |
| 雇用・就労 | 1件 |
| 経済事情・経済的支援 | 1件 |
| その他 | 6件 |

＜福祉サービス＞

・　老親が病院に連れていくには、子どもの力が強く、体力的に無理なため、何か手立てを考えてほしい。

・　通所や通勤を自分１人ではできない。特に夜間安全に女性が歩けるよう、移動支援や送迎サービスを早急に整備してほしい。

* 障害者が年齢を重ねたときの支援が少ない。

＜現状のままでよい＞

・　地域生活ができる人はその方が良いが、重度の自閉症かつ高齢なため、24時間サポートが必要。地域での生活は考えられない。

・　排泄補助から身の回りのことまで全て施設職員の世話になっている。極度に神経質なため、慣れない場所や人を受け入れることは難しい。

＜バリアフリー＞

・　電車を乗りやすく改良してほしい。以前、渡し板を使って電車に乗る際に、健常者から「早く乗れよ、じゃま」と言われたことがある。

・　車いすで移動する際、駐輪場からはみ出した自転車がじゃまなので整備してほしい。

＜将来の不安＞

・　親亡きあと、後見人をお願いするしかない。

＜雇用・就労＞

・　区役所に障害者が活動できる場所や就労場所を作ってほしい。

＜経済事情・経済的支援＞

・　障害年金を増やしてほしい。

＜その他＞

・　健常者と関わる機会をもっと作ってほしい。